

ゼミ名（通称）	科目名	担当教員（所属学科）	主要担当科目
浅田ゼミ	演習 I・II	浅田進史（経済学科）	経済史

ゼミのテーマ

近現代を中心に歴史の視点から経済・社会について学ぶゼミです。世界経済の歴史的変化は、欧米やアジアの社会・経済、生活、働き方、消費などにどのように関わりあってきたのでしょうか。経済史の手法から近現代社会を深く理解する力を身につけることを目指します。



2022年夏、世界経済史会議(パリ)にて

ゼミの目標と内容

ゼミではグループ・ワークを中心に、パワーポイントやワードで発表資料を作成し、ゼミ全体で発表・討論を行います。演習 I では、経済史に関わる基本的な文献を中心に、演習 II ではステップアップした文献を使って学んでいきます。ゼミでの発表・討論、レポート作成の力をしっかり身につけたうえで、演習 III では卒業論文に取り組むこととなります。また、学年を越えて交流し、刺激しあえるように学期末に2・3年生の合同発表会を行っています。

これまでの卒業生が取り組んできたテーマは、産業革命、食文化、ジェンダー、植民地建築、戦争経済など、また地域も欧米からアジアまで多岐にわたります。自分で取り組みたいと思ったテーマをできるだけサポートしていきます。

その他のゼミ活動

懇親会、学期末の2～3年生の合同ゼミ発表会、卒業論文発表会、夏のゼミ合宿（ただし大学の新型コロナウイルス感染症対応のルールに則って開催の可否を判断します）など

ゼミに入る上での注意点

ゼミ生がゼミ活動の中心です。また、ゼミの仲間と一緒に学ぶ気持ちが大切です。

ゼミに関連して受講してほしい科目

・経済史に関連する科目および国際経済コース関連の科目

先輩ゼミ生からのゼミ紹介

「みんな仲が良くて落ち着いた雰囲気のでゼミです。」、「グループに分かれて発表したりします。パソコンを使って、資料をまとめたり、また全体的にみんな仲よく楽しいゼミです!!」、「パワーポイントやレジュメ作成など、プレゼンにおける基礎的なものから学ぶことができます。他国の経済の歴史について学びたいといった方におすすめです。」「歴史が好きなら、一層面白い内容だと思います。」、「打ち上げもあり、楽しいゼミなのでオススメです。」、「良かったら見学に来てください。」

ゼミ名 (通称)	科目名	担当教員 (所属学科)	主要担当科目
姉齒ゼミ	演習 I・II	姉齒 暁 (商学科)	消費経済論

ゼミのテーマ

ゼミ生の関心に沿ったテーマ設定を行います。テーマは、生活という窓口からみた経済/社会問題全般です。特に、歴史分析を力にしながら現実の問題を見ることを重視しています。

ゼミの目標と内容

課題設定、資料収集、分析、プレゼン、討論そして論文としてまとめる力を身につけて社会に出て行ってもらうことが目標の一つです。このゼミを終えて社会に出た先輩たちは、口々に「会社で4000字のレポートを」「来週プレゼンを」と言われても苦に思ったことはないと言っています。さらに、問題意識と想像力を有し、行動できる力を身につけることは最大のゼミの目標です。そのために学生自らが提起してテーマに関連する映画や写真展、講演会、企業見学にも参加することもあります。夏合宿では主として「体験型合宿」を行っています。夏合宿の行き先を決めるのは学生自身です。一人の提案をみんなでまじめに話し合い、取り組んでいく、そういう繋がり濃さがゼミの自慢です。

その他のゼミ活動

地方の地域と連携して調査を行ったり、他大学の経済学系ゼミとの討論会、公募論文への応募なども行っています。実績：新潟県地域活性化事業2年間連続で取り組み。五泉市食育調査で3000人以上の市民を対象にしたアンケート調査と分析など。

ゼミに入る上での注意点

無断欠席・遅刻は厳禁。課題は必ずやってくるのが求められます。それだけ力をつく場所です。思いっきり勉強したい、成長したい、自分を変えたい・・・そういうゼミ生を求めています。姉齒はスウェーデンでの在外研究を終えて戻ってきます。この間、ゼミ生の募集を停止していましたが、人数が少ないところから再開することになります。

ゼミに関連して受講してほしい科目特になし



趣味：スキー1級、

好物：バウムクーヘン

先輩ゼミ生からのゼミ紹介

私たち姉齒ゼミの研究テーマは「消費経済論」となっています。しかし、研究テーマは毎年ゼミ生が決めることになっているため、実際のゼミのテーマは広範囲にわたります。昨年は「沖縄問題」を中心に学習し、沖縄へ現地調査に行きました。姉齒ゼミは厳しく、そのためゼミ員が少ないのですが、その分先生との距離も近く、ゼミ生同士も学年の垣根を超えて仲良くしています。充実したゼミ活動をおこなっています。実践的な力をつけることができます。しっかり勉強したい方や仲の良い友人を作りたい方はオススメです！

ゼミ名 (通称)	科目名	担当教員 (所属学科)	主要担当科目
新井ゼミ	演習 I・II	新井大輔 (商学科)	銀行システム論

ゼミのテーマ

地域金融の現状と展望

ゼミの目標と内容

このゼミでは、学生が自分たちで具体的な研究課題を決めて研究を進め、最終的にはグループ論文にまとめます。

前期は、メンバーの興味・関心を出し合い、深めることから始めます。直感的に「面白そう」と感じたことを手掛かりに議論を重ね、4月中に基本文献を一冊決めます。前期中に基本文献の輪読を終え、各自期末レポートを作成します。後期にはグループ論文を作成していきます。



その他のゼミ活動

学生の希望を聞きながら、フィールドワーク、合宿、懇親会などを行う予定です。

ゼミに入る上での注意点

自分自身が主体となってゼミを成立させるぞ！という気概のある学生の応募を期待しています。協力して、メリハリのあるゼミにして行きましょう。

ゼミに関連して受講してほしい科目

銀行システム論、現代銀行事情、金融論

先輩ゼミ生からのゼミ紹介

※2023年度から新たに開講されるゼミです。

ゼミ名 (通称)	科目名	担当教員 (所属学科)	主要担当科目
小倉ゼミ	演習 I・II	小倉将志郎 (経済学科)	現代アメリカ経済論

ゼミのテーマ

現代のアメリカ経済・社会について幅広く扱います。多様なサブテーマの中からゼミ生の関心のあるものをいくつか選んで学びます。

◎ゼミ生が選んだ学習テーマ例 (過去5年分)

2022年度前期: メタバース、NFT、仮想通貨の展開

2021年度: アメリカの文化と経済 (スポーツ、音楽、映画、ゲームなど)、米中貿易摩擦、半導体をめぐる国際競争、新型コロナワクチンの開発・普及の状況、黒人差別問題と「Black Lives Matter」

2020年度: SNS とフェイクニュース、デジタルメディアの展開と戦略 (特にNetflix とアマゾンプライム)、広がる刑務所民営化とその影響

2019年度: ディズニーはなぜ世界で人気なのか、アメリカ人の食生活、アメリカの農業と遺伝子組換作物 (GMO)、不法移民問題と対策、巨大 IT 企業「GAFA」の世界戦略と諸問題

2018年度: アメリカの教育と格差の関係、宇宙ビジネス、トランプ大統領誕生の背景

※2年前期は、まずアメリカ経済の歴史をざっと勉強することから始めることも多いです。

※3年時は、秋に学内で開催される学生シンポジウムで研究成果の発表を行うことを大きな目標とします。

※4年時は、卒論 (必須ではありません) or 卒業レポートを、自由にテーマを選んで執筆します。



学生の話聞くのは結構好きです。

ゼミの目標と内容

目標はアメリカを多面的に捉えること。内容は学生が希望するテーマの文献の輪読が中心。

その他のゼミ活動

新歓コンパ、学生シンポジウムでの発表、他大学ゼミとの研究交流 (コロナで休止中) は必須イベント。他、ゼミコンパ、ゼミ合宿などについては希望を聞いて柔軟に実施します。

ゼミに入る上での注意点

全員歓迎ですが、アメリカを含む海外の社会や文化に興味のある方は特に大歓迎です。

ゼミに関連して受講してほしい科目

現代アメリカ経済論 a, b、国際経済コースの諸科目。

先輩ゼミ生からのゼミ紹介

「こんにちは！小倉ゼミ・ゼミ長の高須です！このゼミはアメリカ経済に重きを置いて、日々勉強しています。しかも、自分たちで学ぶことを決められるので、興味があることを重点的に、楽しく学ぶことができます！通常のゼミ活動の他にも球技大会や、学生シンポジウムなどにも参加していて、特に学生シンポジウムはそれまで学んできたことを活かす機会となっており、とても達成感があります！アメリカに興味がある人はぜひ来てください！」(3年ゼミ長)。「ゆるく、楽しく、みんなで学んでいくゼミです！先生との距離が近いのも魅力です！」(3年副ゼミ長)

ゼミ名 (通称)	科目名	担当教員 (所属学科)	主要担当科目
小林ゼミ	演習 II	こばやし まさと 小林 正人 (経済学科)	日本経済論

ゼミのテーマ

「日本経済と国民の生活」 「日本経済論」のゼミです。「高度経済成長」の時代から、バブル経済、1997年の金融危機、リーマン・ショックの影響、そしてアベノミクスの時代に至る日本経済の歴史を、「国民の生活」という視点から学びます。経済成長、雇用と失業、国民生活の向上をキーワードにして、ゼミ生から出る疑問や問題提起をくみ取りながら、学習と研究をします。高度経済成長期の日本経済から考えていきましょう。



趣味は映画と音楽

ゼミの目標と内容

小林ゼミではグループ・ワークが基本です。各グループが発表の資料をつくり、ゼミ生みんなに議論したいテーマを提案します。そのテーマについてグループごとに話し合って意見をまとめ、それを発表します。こういう活動のつまかさねによって、説明のための資料を作る力、それをプレゼンテーションする力、課題を見つけだす発見力、そしてその課題への答えを自分たちで練り上げる創造力などを楽しく身に付けるようにしています。

また、経済小説を読んだり、ドキュメンタリー番組を視たり、工場見学に行ったりして経済をリアルに理解できるようにしています。

その他のゼミ活動

夕食会、工場見学会、ゼミ合宿やゼミ旅行、卒論発表会などの予定があります。

ウェブサイト「ようこそ小林研究室へ」(<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kobamasa/>)のなかの「小林ゼミのひろば」を見ると、小林ゼミのとりくみがわかります。2020年度からはオンラインのゼミのため、C-Learningに記録が残されています。

ゼミに入るうえでの注意点

ゼミ生の自主的な発表や、ゼミ生どうしの話し合い、学び合いが中心のゼミです。

演習 III に併設される「卒業研究」は「卒業論文」だけです。

ゼミに関連して受講してほしい科目

日本経済論、国際経済論、アメリカ経済論、ヨーロッパ経済論、社会経済学。

先輩ゼミ生からのゼミ紹介

小林ゼミでは経済的、社会的事象について知識だけでなく実用的な未来としての討論ができます。／毎回行なう討論によって問題提起に対する自分の意見を考える力が身に付く。また、問題に対する先生の解説によって知識が深まる。／ゼミの内容で難しいところやわかりにくいところ



ろはわかりやすく解説してくれるし、楽しくできるよ。／今年はグループの発表が多かったので見やすいレイアウトや、伝わりやすい声のスピード、トーンというものを考える事ができた。／日本の経済情勢だけではなく、海外の経済情勢と照らし合わせたりしながら景気の変化などを学べるのが面白い。／レジュメ作成で要点をまとめる能力がついたり、自分の意見を言うことができるようになったりする。

← 小林ゼミの卒業論文集



工場見学会 2023年2月

ゼミ名 (通称)	科目名	担当教員 (所属学科)	主要担当科目
館ゼミ	演習 I・II	館 健太郎 (現応学科)	産業組織論

ゼミのテーマ

ゲーム理論で読み解く企業間の競争と協調

ゼミの目標と内容

人々の駆け引きを分析するためのツールであるゲーム理論やミクロ経済学、産業組織論、入門的な統計学について学んだ上で、企業間の競争や協調について議論し、業界研究の手法を学びます。

ゲーム理論とは、家庭や地域など私たちの身の回りで起きる事柄をゲーム、つまり一種のかけひきととらえ、できごとを説明し、結果を予想しようとする学問です。

ビジネスの世界では、新製品の広告・販売や製品間の互換性などの競争が重要になりますが、企業はどんな戦略をとるべきでしょうか。ゲーム理論とミクロ経済学という共通の土台の上に、市場や企業について議論できるようになることをゼミの主な目標にしています。



兵庫県生まれ。趣味は水泳と自転車で街巡り。

その他のゼミ活動

グループ研究発表会 (各学期末)、ゼミ内交流会

ゼミに入る上での注意点

2年次にはゲーム理論の学習を中心に進め、数回に1回くらいのペースで駆け引きを体験するゲームの実験を行います。3年次には入門的な統計学と業界研究のための手法を学びます。各学期の終盤に学んだ知識を活用してグループに分かれて研究し、発表を行います。

先輩ゼミ生からのゼミ紹介

館ゼミはどちらかというと少人数なのでみんなと仲良くできます。先生がいつも笑顔なのも魅力です。

ゼミ名 (通称)	科目名	担当教員 (所属学科)	主要担当科目
田中 (聡) ゼミ	演習 I	田中聡一郎 (経済学科)	社会政策 a, b

ゼミのテーマ

社会政策の経済分析

ゼミの目標と内容

私たちが暮らしていくなかで、様々な困難に向き合わなくてはならないことがあります。病気になったり、失業したり、子育てに忙しくなったりします。そのとき、どのような社会政策が整備されているのか、経済学の観点から学びたいと思います。社会保障（医療、年金、介護、子育て支援、貧困対策等）や労働政策（労働時間規制、労働安全衛生、最低賃金等）に関心がある方や公務員志望の方が向いていると思います。



演習 1 では社会保障に関連する書籍・論文の輪読、演習 2 ではパソコンを用いたデータ分析の手法の理解、演習 3 では卒業論文の執筆を行います。

その他のゼミ活動

懇親会やシンポジウムの参加などを考えています。2021 年度の開講で若いゼミということもあり、ゼミ生の皆さんと相談しながら決めたいと思います。

ゼミに入る上での注意点

ゼミ活動では、積極的な参加が求められます。発表者だけでなく、参加者全員に発言の機会が与えられます。統計やデータ分析については、ゼミ生同士で相互に支援しながら、一緒に学んでいきたいと思っています。

ゼミに関連して受講してほしい科目

社会政策 a, b を履修すると、ゼミのテーマについて理解が深まると思います。

先輩ゼミ生からのゼミ紹介

社会保障の教科書を読んで、制度の基礎知識をつけます。その後、卒論にむけて統計の収集、分析手法について学んでいます。まだ新しいゼミですので、皆さんで良いゼミにしたいと思います。

(3年生)

ゼミ名 (通称)	科目名	担当教員 (所属学科)	主要担当科目
西村ゼミ	演習 I・II	西村 健 (現応学科)	企業経済学

ゼミのテーマ

「ゲーム理論」と「実験経済学」というテーマです。

ゼミの目標と内容

このゼミでは、ミクロ経済学の基本的・応用的なトピックについて学習します。経済理論を厳密に学び、「実験」データを収集および分析することで、理論が現実に成り立つかどうかを検証します。

ゲーム理論とは、人々や企業間の“駆け引き”を分析するための総合的な理論体系です。ただし、それはあくまでも「理論」なので、理論結果が現実にそのまま成り立つとは限りません。化学や物理学あるいは心理学と同様、ゲーム理論の仮説についても「実験」で検証する必要があります。そこで登場するのが実験経済学です。皆さん自身が実験参加者または実験設計者となり、実験結果と理論仮説を比較検証します。

その他のゼミ活動

毎年11月に開催される学生シンポジウムで、研究報告をしてもらいます。

ゼミ生からの希望があれば、合宿（夏もしくは春）を実施します。

ゼミに入る上での注意点

テキストの輪読を通じて、理論的・数学的な内容を基礎から着実に学びます。ミクロ経済学の延長的な内容になりますので、その講義内容を面白いと感じた学生の皆さんに受講をおすすめします。輪読の発表者以外も、積極的に発言・議論することが強く求められます。

グループワークも実施します。理論的な仮説が現実に成り立つかどうか、実験データを収集・整理して検証してもらいます。チーム作業だということを意識して、メンバーと協力・議論しながら作業を進めてください。ゼミ生の皆さんには、ゲーム理論の実験に頻繁に参加して様々な「ゲーム」をプレイしてもらいます。実験には報酬が付けられる場合もあります。

ゼミに関連して受講してほしい科目

企業経済学・ゲーム理論・経済統計・計量経済学の受講を強く希望します。それらの予備知識があると、ゼミの学習を円滑に進めることができます。



経済実験に興味がある
人を大歓迎します！

先輩ゼミ生からのゼミ紹介

理論を踏まえて実際に実験を開催したり参加したりするため、理解が深まります。グループでの作業が多いことから、難しくわからない箇所があれば気軽にメンバーへ相談ができる環境があります。合宿や懇親会などを提案して実行に移すこともできるため、ゼミ内の親睦も深めることができます！。



ゼミ名 (通称)	科目名	担当教員 (所属学科)	主要担当科目
番場ゼミ	演習 I	番場博之 (商学科)	流通政策

ゼミのテーマ

流通、まちづくり、マーケティング、社会・教育・学校



ゼミの目標と内容

このゼミでは、企業のマーケティング戦略、それが引き起こす問題とそれへの公的対応、地域再生やまちづくりについて研究していきます。

まず2年次では、企業のマーケティング戦略とそれによって引き起こされる問題に「気づくトレーニング」をしていきます。広告、アソートメント、景品・懸賞、立地戦略、ブランド、チャンネルなどを文献研究を通して検討し、その有効性ととも問題性を考えていきます。

その他のゼミ活動

このゼミの運営プログラムは3年間で完結するようにつくられています。2年次は、「見る・聞く・話す・調べる」を軸とした『問題発見型学習』が中心です。前半はビジネスゲームと書籍等の輪読、後半は課題研究・巡検・プレゼン・討論などを行うなかで社会科学を学ぶ上での基本的なスキルや考え方を身につけるとともに各人が研究テーマを見つけていきます。3年次は『問題解決型学習』が中心です。それまでの学習成果を前提として、問題解決のための文献研究・課題研究を行い、論文を書きます。課題研究はワークショップの手法によるグループ学習が中心です。そこで取り扱うテーマは多様で、学内外のコンペ等への応募を前提に行われます。

3年次終盤から4年次では、先行研究を利用しながら、それまでの各自の研究内容を検証し、より深めていく『知識習熟型学習』が中心です。具体的には、書籍・論文・地図・統計等を利用した学習となります。それと同時に全員が卒業論文の執筆を行います。卒論執筆は、『新たな課題発見の学習』といえるでしょう。なお、実際の内容はメンバーによって柔軟に運用します。

ゼミに入る上での注意点

応募に際して学科や成績は問いませんが、様々な活動に自主的かつ積極的に取り組める人のみ応募して下さい。

コロナ禍がある程度収束していれば、ビジネスゲーム・巡検等のためにゼミ費(月額100-200円位)を徴収し、積み立てていきます。ゼミ費は学生が自主的に管理・運営していきます。同窓会・教職・合宿・学園祭・巡検・スポーツ大会・他大学ゼミとの交流、就職・進学などゼミに関わる項目は多岐にわたります。ゼミ生には体育会に所属する学生も少なくないので、部活動との両立も考慮しますが、個別事情は基本的に事前に相談下さい。ゼミ論集の閲覧も可能です。

教材は必要に応じて相談して決めます。中学校・高校の教員を目指す人は個別に指導します。

演習 I (新2年生) は番場ゼミ第 30 期です。ゼミ運営方法は、コロナ禍の状況やゼミ生の人数等に応じて変更になります。授業やゼミ活動は 2・3・4 年合同で行うこともあります。

個別説明会・オンライン面接の ID meet.google.com/ybe-twfb-vsh

ゼミ募集 HP [2023 年度番場ゼミ \(google.com\)](https://sites.google.com/komazawa-u.ac.jp/bambazemi-2022/)

<https://sites.google.com/komazawa-u.ac.jp/bambazemi-2022/>

ゼミ名（通称）	科目名	担当教員（所属学科）	主要担当科目
堀内ゼミ	演習Ⅰ・Ⅱ	堀内健一（経済学科）	経済理論・資本の原理

ゼミのテーマ 現代資本主義研究－日本経済の長期停滞の分析と将来展望。資本主義社会の経済法則の理解の上に現代資本主義の発展動向を分析しています。とくに1990年代以降の日本経済の発展のありかたの大きな変化に着目しています。

ゼミの目標と内容

日本は先進資本主義国のなかでも課題先進国とよばれ、ある意味最先端を走っています。この30年ほどの国内では、名目GDPは横ばい傾向、インフレ終息、非正規雇用は40%に倍増、賃金水準は97年以降低下傾向、所得格差が2000年代以降顕著に拡大、少子高齢社会の到来といった構造的変化が生じています。海外では、中国など新興国が急成長、アメリカも経済規模は約3倍になるなか、日本の生産拠点は海外に移転、同時に国内への労働力・観光客の積極的受入も進んでいます。日本経済の構造的変化、長期停滞の諸要因は、一定の経済発展の成功と国民の平均的な消費欲望の充足にあると考えた場合、さらなる経済発展をもたらす技術革新とその生産力への応用は可能なのか、国内投資をさらに誘発できるのか、できないならどうしたらよいかということを考えています。

そのために文献、資料の収集と読解・討論、統計データの加工・分析を行います。その過程で文献要約レジュメ、討論内容記録を作成し、グループ・個人での研究レポートを執筆します。それらの成果は、ゼミの時間はもちろんのこと、学内の「学生シンポジウム」での発表、学期末ごとの課題レポート・最終的には卒業論文の提出、卒業研究の口頭試問での討論というかたちでつみあげていきます。

その他のゼミ活動 ゼミ連のスポーツイベント、懇親会、夏合宿、新年会、春合宿など。

ゼミに入る上での注意点

このゼミでは卒業研究・卒業論文執筆を必須としています。なるべくはやく自分で解くべき問題を見つけ、それを自分の頭で考えるには、それなりの安定した心持ち、それを支える規律ある生活と社会常識が必要です。個人の自由が尊重された上で、グループ研究や合宿などでの協調性の発揮も求められます。

ゼミに関連して受講してほしい科目

経済理論・経済システムの原理（堀内担当）など経済学科配当の諸科目。演習Ⅱ（3年生）では、他学科での社会経済学、金融系、会計系、経営学系統の科目。

先輩ゼミ生からのゼミ紹介

このゼミは他のゼミと比べるとおそらく少人数なため、各個人への理解が深まり、繋がりが強いのでゼミ内の雰囲気がとてもアットホームなところが特徴です。さらに、先生との距離も近く一人ひとりへの対応が丁寧でサポートが手厚いところもポイントのひとつです。こういったゼミならではの良い点や、堀内先生からの惜しめないサポートで柔軟性の高い学習ができます。活動としては、文献を読んで内容をまとめ発表するという文献輪読を主とし、シンポジウムでの発表を目指して準備しているところです。議論のテーマは初歩的な経済理論だけではなく、リアルタイムな経済問題や社会問題など様々な種類のものを取り扱っているので、幅広い知識やいろいろな角度から物事を捉えたい人にオススメです。（2年生一同）



ゼミ名 (通称)	科目名	担当教員 (所属学科)	主要担当科目
松田ゼミ	演習 I	松田 健 (現応学科)	現代企業論

ゼミのテーマ

株式会社論が主たるテーマですが、企業統治論や SDGs (Sustainable Development Goals) も射程に入れながら、企業と社会との関係を研究します。

ゼミの目標と内容

ゼミの目標は、「自分と異なる意見の持ち主との間で、論理的に意見を交わらせるようになること」です。そのためだけではありませんが、毎年、日経 BP 社が運営している「日本学生経済ゼミナール関東部会 プレゼン部門(インナー大会)」に2、3年生の混成チームを作って参加しています。これは自分たちで設定したひとつのテーマの下、他大学の同世代とお互いの研究内容を発表し合うことで少しでも広い視野を身につけてもらいたいと考えているからです。この日経 BP のインナー大会には 150 チームほどが予選に参加するのですが、松田ゼミチームは近年では 3 年連続でブロック優勝し、決勝(12 チーム)に残るようになりました。一昨年度は予選で散りましたが、昨年度はブロック優勝し、決勝に進んでいます。また、学年を越えた交流も松田ゼミの最大の特徴のひとつです。サブゼミでは3年生が2年生に経営学の基礎をレクチャーします。



大学本部のお役目を引き受けているので、とても忙しくなりました。

でも、皆さんに負けられないように頑張ってみます。

その他のゼミ活動

インナー大会の他、他大学のゼミとの合同研究報告会があります(コロナ以前は対面で日本大学・明治大学・津田塾大学・龍谷大学などに行っていました。昨年度と一昨年度は明治大学とオンラインで行いました)。ゼミの公式行事以外では、同期のみで行うアクティビティだけではなく、学年を跨いでおこなわれるイベントや OB/OG も交えた様々なイベントも行われていますが、コロナの関係で近年はできていません。今の状況では今年度中の開催も厳しいかもしれませんね。

ゼミに入る上での注意点

元気があること。大学生としてある意味当たり前の常識を持っていること。チャレンジに前向きなこと。自分で自分の限界を決めないこと。自分に厳しく他人にやさしいこと。毎日必ず何かしらの印刷物(新聞や本)を読むこと。目標達成に向けた努力を継続できること。当事者意識を持ってゼミに参加すること。そしてもちろん、ここまで挙げた各項目を読んでみて、今の時点で「そんなのムリ」って、メゲていないこと。

ゼミに関連して受講してほしい科目

経営学系科目を受講済みであることが望ましいのですが、これを受講していなければならないといった拘束性の強い条件はありません。

先輩ゼミ生からのゼミ紹介

こんにちは！4年ゼミ長の新平江実理です。

突然ですが皆さんには今、何か打ち込めるものはありますか？

松田ゼミには「学生が主体となって活動する」という特徴があります。具体的には合宿や入室試験等、行事の全てを学生が企画し運営しているのです。このような数々の行事を通して「自ら考え行動する力」を身に付ける事ができます。

成長するかしないかは自分次第ですが、諦めず挑戦し続ける人を全力でサポートする先生とゼミ生が松田ゼミにはいます。私自身、コロナ禍で思うように人との関わりが持てない中で、この松田ゼミでかけがえのない仲間と出会う事ができました。だからこそ、皆さんにも一生物の出会いや何かに打ち込んだ経験を大学で見つけて欲しいと強く願っています。

大学生活に物足りなさを感じている人、何か一つでも全力で取り組みたいと考えている人、松田ゼミに興味がある人は是非一度、私達のゼミ説明会に来てみて下さい！私達ゼミ生が松田ゼミの良さを皆さんにお伝えします(^ ^)

熱い思いを持っている方を私達は待っています！一緒に素敵な大学生活を送りましょう！

ゼミ名 (通称)	科目名	担当教員 (所属学科)	主要担当科目
渡邊ゼミ	演習 I・II	渡邊恵一 (経済学科)	日本経済史 a, b

ゼミのテーマ

日本の経済・経営・産業を、歴史的な視点から考察しています。とはいえ、「日本経済の歴史を学ぶ」のではなく、「日本経済を歴史で学ぶ」というのが正確かもしれません。

経済には、「新しいように思えて古くからある問題」がたくさんあります。一定の期間が経過したからこそ得られる史料、データなどを分析していきます。日本史挫折者大歓迎！



プロフィール
鹿兒島大学助教授などを経て2005年に駒澤大学へ。東京都出身。

ゼミの目標と内容

毎年12月に、日本経済史・日本経営史を専攻する都内の他大学ゼミと研究成果を発表し合う「インターゼミ」を、自主的に開催しています。研究テーマは学生がアイデアを出し合って決めます。今年度は知的財産権（知財）の歴史について研究しています。最近

では「漫画村」のような海賊版サイト、「フランク三浦」のようなコピー商品を連想するかもしれませんが、そのような知的財産権を侵害する行為は、かつての日本では日常的に横行していました。そこには深〜いワケが……という感じで、いろいろと仮説を立てながら分析していきます。研究は2〜3の班に分かれ、教員の助言や指導も受けながら、資料やデータの調査・収集、論文の執筆、発表（プレゼン）用のスライド作成など、すべてを学生の手で進めます。他大学の学生と討論したり交流したりすることは、学生時代の貴重な経験となり、就職活動の場でもきっと役に立つことでしょう。

4年生の演習Ⅲでは、卒業論文（卒業研究）の執筆が中心となります。テーマは、広い意味での日本経済史の範囲内であれば自由ですが、学生生活の集大成となる質の高い論文が書けるよう、教員が懇切丁寧に指導します。

その他のゼミ活動

授業時間だけでなく、合宿・コンパ（過去2年間は中止）などを含むゼミ活動全般への参加が求められます。

ゼミに入る上での注意点

数多くあるゼミのなかからどこを選べばよいのか、誰もが迷うのではないのでしょうか。少しでもこのゼミに興味を持ってもらえたら、個別説明会（オンライン）で話だけでも聞いてみませんか。ゼミ長、副ゼミ長と一緒に、お待ちしております。

研究室のホームページに出ている情報も、参考にしてみてください。

[渡邊恵一研究室](#)



先輩ゼミ生からのゼミ紹介

このページを見ている皆さん、渡邊ゼミに興味を持った動機は何でしょうか？ 渡邊ゼミにはインターゼミをはじめとして、様々な魅力がありますが、何に最も強く惹かれましたか？

私にとってそれは、「主体性」でした。目標を与えられるのではなく、学生自身でテーマを決め、自発的に研究を進めて教授に指導していただく。主体性を磨く環境として、素晴らしいゼミだと思えます。何も考えず与えられたことをこなすのは楽だし、他責にするのは簡単です。その方が好きな人には辛い環境かもしれません。どちらを選ぶかは自由ですが、どちらが有意かは明らかだと思います。渡邊ゼミで過ごす3年間に有意義にできるかはあなた次第です。あなたの行動次第で、いくらでも成長できるし、渡邊教授はその支えとなってくれるでしょう。その経験は、きっとあなたの将来の糧になります。